る。重大仮命にかんがみ。議会

万策を中外に闡明して歐米或の世

の整備確立を期するとと

が開朝の野国を破捕する関別的議 りと、特國の数字たる大単胞建設

「東京報話」世級院認会院委員長な「職」が追溯されることに決定した のびに各所に委員は十五日の各職 かは警察委員會正備委員長は左の の対象の部務・申旦前リニなり、加く内定した

| 前回通りとなり、 一種奏は琴 矢吹谷三男(冬正) | 「「一切りとなり、 一番奏は琴 矢吹谷三男(冬正) | 「一切で、一切で、内定した

なく明示せられる

戦時金融に大御心企業整備に大御心

| 応義出の人法健戦を職次上は、所・恵おに本會議を申哨・駆急上基して削場・数これを可決、ついで吸 の二年は周日中に委員會で可決し

緊急上程し

調する法律案

立、決版旅跡確立方策に即應する 保のための綜合食料應綜對策の確 眼目たる成力均強のための情况な る歌職を開始し、今期職會の三大 びである、かくて第八十二四時職

通計六十億の巨額

豫算外契約諸件決定

(Y.) 共助資金利子補給、七百八十萬國 (D.) 特殊企能信託の取改減偏過。 (A.) 政府經濟日本信國 (A.) 政府經濟日本信國 (A.) 政府經濟日本信國 (A.) 政府經濟日本信國 (A.) 政府經濟日本信國 (A.) 政府經濟日本

一覧に関するものに / 既代、既工三省所

欧正ならびに膨止に関する勅令案のとづく國民徴用令以下五勅令案の

西 本 配

共同證券 小池間 動員器融資において級動員法にも

を削し政府は去る五月廿四日の総

期的規模を反映

昭和十七年法律第二十三號中改

養員長に 林博太郎伯

全院委員長に徳川公

曾の蹈乱が公布された、今期職會

國家の総力を職争完遂に

のでは、1、1

「おけ近、行きな、「が、片、つくがのなっている」とは、「はいない」である。かくて第八十二國際とよって第6年の首後の一般の後の後の時であって、「はいない」である。 ひんしょう ていまのう 人貴族院 人名科丁 とれ (日本) は (日本) は

に関する法律案はも1年 | 19 片名店並入台画和に対する壁 | むこれを建け強問も重照主義で行案。員 長 高橋 ウギ | 関立これを行はず、すべてを強翼、尽けずであるが、現べ十、統合に乗り、 高橋 ウギ | 受負者および特別を負担に纏ることに強調を負責において各版の処理を開発されて各版のの、 大春に大夫 | とじなったが各受負責とも短期間 | 間を拡大る意味である。 大春に大夫 | とじなったが各受負責とも短期間 | 間を拡大る意味である。 大春に大夫 | とじなったが各受負責とも短期間 | 間を拡大る意味である。

内外の決戦施策を闡明

するに要する疑問金字だは補給期鮮における米穀の生産を確保

【泉京電話】貴族院は職會多年の

別 切これを難け強問も重點主義ででいるが、第八十一級官

壁の耐者の役割を果すべき機関と

整備に管づて設備電磁に對する補

変を一 歴完成したわけである

おける磁業設備管盤と國民更生金

新設される朝鮮食福盛國に對する

明問題管所所管に膨するものであつぎに特別會計にあつては大部分

四刺令閣議決定

勤勞緊急對策一應完結

直ちに本會議

昭和十七年法律第二十三號中西
大江安 宮井・藤道
江江原の藤貞本との任期延复に
東方会法作業
本師 尚武

會、弱頭東條首相は貴族院におけ

- 8月9年皇帝に皇を居におけ、國民の総意を反映して深連まで討ると同様施政方針追脱を行ひ、つ 陳を巡行

るが、既くも、天皇陛下にな

中時四十分宮坂御出門、貴族の略式自動車圏郷にて午前 院に行幸あらせられる

田、佐々木、内ケ崎遺衆南院正

從次長階號、松平宮相以下供

関において履順に取行され

民院完成場に親しく既御あら

機能軍の決意も新たに成力地

天皇陛下には、この日曜辺、天皇陛下には、この日曜辺、

あらせられ 東條 首相以下各階 僚、原、鈴木福府正副職長以

御先導にて一旦便殿に入御、

陛下には松平貴族院職長の

(東京電話)大東座版下一像といれる旨十五日仰出された

聖上、けふ開院

大使命を愉びた第八十二

社報日城京 崑鲁 所成

九歸還將軍

を除き脈脈、決斜、原脈、資格器・査の四季は會は事質上開音せざる。意味である

出御、九將軍に親しく理影仰付け 過ぎ相ついで宮中に参内、患くも トラネオル、下吸るらさられた。 ・ 五が新じな領域的木林一郎づら き、五が新じな領域的木林一郎ならびじ 金一封づら き、五が新じな領域的木林一郎づら を一封 受し、恐懶宮中を恵下した「類は腎神間において融源を

を附近器譲すべき特別委員會は左 の四つとする方針である 【東京能話】貴族院では各議案と 企業整備案解係(委員二十七 食品 均產家 明保(委員十九

日午前十時より開かれた領政議会

よび各部任委は長の候補者は十五

長候補決る

貴院の四特

別委員會

一、公债銀行菜的よび時海軍所管村別會計案關係(委員十二名) なに各率常任員のうち豫章委員館

質問も重點 学島の闘夫も形践士にまで凱緞、一学島の闘夫も形践士にまで凱緞、一

小磯総督は十五日の定例局長會職

のばかりでなく、内地の機関も動 、協力せしめる要がある話を途 は、は、生産地域に対する管域のより 総對必要で、それには半は内のも 図道の配得であり、日本精神の徹めには試験、研究機関の総動員が つかり足を踏みつけた影響監督の

各種取力物質の緊急増産を囲るため成する要あることを理解、更に

總督訓示要旨

十四日水原で軽進動労を敵祭し

たが、原生の勤労率仕に求めるも

がこれも勤労の能率に頂きを置い 生にモツコの頃が少いと注意した

ていつたのでなく労働を通じて把

米國の機能力を重用せる大震場、てこれら重要完確の開鍵を貨庫せめることを眺みために個ならない。はもとより内垣機嗣の職務を毎得地すべき日本海師の職僚に襲れし、である、切談に戻ける官法の職員・

前上され、また朝鮮米級市場會此 の総合によって 2 地方領級統制會社の総合によって 2

一区図がされて、首上されてある。歴ナる生産の危険的が耐ない場所に動

うとは知らなかつたと全讀自分にこんな强い力があら

所行發

者驚嘆の書!(公爵一條實孝間下題字)

以上のほか帝國驗道特別會計とし

面の刷新頭化により著しく促進せ

ある、瑞穂の幽日本の選業は脈密に於て重大なる智感となるもので

展をはかりたいと思ふの健質な登

定 地下資産の居民によりる大変見の製造なる。 地下資産の居民には、1000 では、1000 では、100

芯喰中の被害について説明。 選田農林島長 京城附近の赤

事務分擔の

南方圏綜合講

について の質額報 中の際田

施行遊說 座 隣 : 講

式新最 新 機

胸なる大

では野炭ーのは野炭ー

長距離通信教授 帝國 綜合 學院 最新式 講座開始

械

府立東京商工獎勵 館編纂

A 5 門全二種 區谷下市京東 町木棚野上 京 東 馨 振

至》 〇版本卷 | 〇級本卷 | 海 九三町木銀野上區谷 下 市 東 院 學 合 続 國 至〇一大四九一京東巻

戦力物資増産と 農士錬成に努め には他産民徒が近への食糧供給力 の諸問題の緊決については、時が

でニ、三千人の他商祭に従事する なるが、ひるがへつて威争が長期人口の食機を供給してゐる計算と

現に研究網を中の

るから、朝鮮の以来も「陸古」に の制御を削り健長を生む機業であ 創九時より第三會職業に開催、先 各局長發言

武災

苦脱ずの

一百七十億貯災納進配

統制會

日本協議醫察

野村協会 川島騒體祭 日興體祭

所扱取

部本 道

→ 母及版時間 | 国 五十卷 → 母及版時間 | 国 五十卷 → 母及版時間 | 国 五十卷

眞

の力 天 西川石小市京東

職議を集中し建國一際官民相協力 道は戦脅職員の任期延長の三點と とゝもに中華民國をはじめビルマ して必勝の決試と態勢とを固める

こゝに現敗略におけるわが國内外 比高など大規能共換層重数の遊ぶ一提出すべき十八年批追加強算案を の階建設方策は護衛劈頭より造成 に到する結園の建設施策を闡明、 医療において第八十二国時間會に 要求されるものは企詞整飾風俗の 決定褒裘したが、さらに取力増強 り各契約間の重収開係を考慮して みで通針六十億個見強の巨額に上

推定され、今次政府の國家性と闘 うちわけは左の如くで一般強計に 期的規模を反映する豫算外契約の

る。このほか朝鮮における金融気 側に伴ひ内地と同様の指道を断ず (三)金錢價務關整損失補償廿萬 正式決定を見たが、十六日の官報 一窓はすでに十二日の樹竈において 就議時間制限令歐止に属する動令要納を決定したが、そのうち工場

しかして機能の四期令案に配て「による社長の徹用が整施されるこで公布、即日施行するこになった」も来月初め場には欧正園民権用令 指定業種職種

· 京電話】勞務調整令中歐

大東亞航空交通

の二點につき特に御言葉を採

十五日午後一時次の如く師話

監法隊につき、上甲上げ

良くも 天畳座下には企業整

無誤仰付けられ 祭八十二

一巻内 天皇陛下

藏相恐懼、謹んで奉答

他資金金融部面に支端なきや

金融の連ば、公園の消化での 金融の連ば、公園の消化での

賀屋滅相謹話

法側数 独質数を臨時間質に混出 が上に伸うを活電力側の補給を開始に提供的場面所以上に伸うを活電力側の補給を開放。 上に伸うを活電力側の補給を開放。 と「策闘において、小規模土地域関称「禁機」「不八百萬圏が含まれてゐる」「 業数百十九萬二千五百圓をもつて

車需工場を强襲

られたものであるといふ意味に

が今日の現状は最早やかくる温

据を目的とする企業整備の餘 資材的効率利用と企製能率の影響いて、内地の娯く人的、物的

収出來ぬほどの凱睺族際に陥っ

主義的育成のみによっては拾

こあることも事實であり、

制令案制令案例外的策略令 53

2 東京京衛銀座西一 實業之日本社 接替東京三 六

カスミ腿前に虫が飛い線に見え作眼を開放の親力が日を破裂し根球が石の卯く不治と諦めた眼病に 代理店 小林・丹平・高雄 財石市相告町和便局東端 **犯財剤 三週間 お** 自青ほそ 果 見かを見 LEBE 私たちの研究――曹田を多 *歴録を子供の世界 ・原語学・彼を野勘ナ

世阿彌元清縣。他劉朝天光琳の事なご思い武者小路 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3 大学任者の立場を18巻3

文山本元帥を憶ふ…四中 忠州 |

本館 (本語) 中国 (本語) 本語 (本語) 中国 (本語) 中

備され、かくて深貧阴賦として 移出の統制ある際系がこゝに整 って生命、供出、配給、耐難、 表であり、これへの批判は後に 本総領一千周回の産業物資密回 理の態態を温敬したい。次に の設心である。この内容は未設

世中に古典的の國际を實行機関 補給金が一股追加激質から一 例へば食料配物の競行を如何な るだけの構へが出來上つたこと 増配に対する積極的施物と相俟 になる。ただ雰囲の週用方針、 意味するものであり、他面食経

家管理協能の完成がことに明確

技権の國家管理強化に伴ふ路響 針、企業整備、金属回収を目的 目に関する。脳も顕織における によって半島に於ける企業縣間 とする産業物資質層の設定など

質がその認出の大半を占めるの

であるが、右豫領の決定に語っ

の短力機関に極めたことは大い

に温暖あることといはねばなら

朝城に於ける企演整備は果して 行に移されること、なったが、

工業が國土指揮的立地條件と

億四十四十一四四十四七及不好 かくて総督府十八年度紙豫算は 見た。追加豫算處出入經額は一

十六億一千五百萬回の巨額に選

哲問所管の各追加豫算案並に関 **与職権に提出さるべき期態能** 本府追加豫算ご兩營團

に於ける食物管理膨制の完成を 戦せる説制がこ人に質明する

の連用方針如何に多大の

る形式にて行ふか、叉實際の買 酸るが、この然風は内地の産業 相當大きく月つ照い影響を興へあるが、實際はこの週用如何が るものであるが故に、この際そ でかけつくこの完成せるが風管

であらう。 に法言案の題會道過を以つて實際制はこれに必要なる策策案前 紫熱 不可眺なもので ある以上 行すべき追加強弩また文字通り意瞑感であり、これが施策を終 せる主題は限力増強のための緊 民として、これが領領宣行に できに機能決定せる企業整備 方針轉換 企業整備の 上にある朝鮮工業の現時間に於 むを得ざる必要原形の企業 まで維持育成の方針で殴んで來 た中小阿工能に対しては反 整備すべき
到象が少いのでその 概能のこれに関する談話によっ が追加豫質の愛表動に田中政務事であつた。その企蹊酸備方針 て明瞭となった。即ちその方針 で要約すれば大企業においては

十分であらうと思はれる。たい 質であらつ。従ってこの點に 來近失神質問度や更生金融問題 るといふ比較的微温的な方針で ひつくこれが改善發展を企岡す れてゐないといふことは全く事 する劉策は企図野師の精神に沿 り、離婚府がこの維持質成 可避の情勢に置かれるに至った 牲目すべきことであるが、盛し とも議論の餘地なきところであ

> れる場合には恐らく賭種の困難 題としてこれが方針の具態化さ とを示すものであるが、質際問

酸質中部地區に在って抗版を総置

大同十五日同盟と支那事態以来

李遊擊隊司

令

明前にその方針を真贋化すべき に並出するであらう。総督所は

あるが、忠定それだけ事前の

描し度言ところに及んであるこ 成するものであるが、それはあ 限度の企業整備」といふことは たものでなければならぬと思ふ く迄、朝鮮の特殊事情に基づい のである『風に日む得ざる必要 に郷職級職務院が十三日敬また家 「午後四時から西門貨糧級財役において、ベルリン十四日同盟」 郷頭落局 「電もに00部隊にこの旨を申出で

獨、ゴ市・サ市を强襲 いて國府政
然
参加式
を行
う
た

盤

逸·航空機工業

海軍落下傘部隊降下戦闘記……※ 邦ニ切迫せる米本 土爆火撃……高久 昇

いて昨日参内災上申上げますべき追加領算家ならびにすべき追加領算家ならびにすべき追加領算家ならびに第八十二回帝國聯份に提出

が 散め 御目類につきまして を要を押したのであります なきやの一胚につき特に 叫 御宮巣につきましては公山 算案にも所要の金額を計上

水魚均種試験補助数一路七千五十一しすでに成立した食物対象施設費

て決版学島の食物協制は國家管理 成的熟試がいかに撮影であるかを

物略るとともに一合いの手を打つ

民の自義的協力になっことへして 必要とする従業者に對する就職なほ企業整備により職回轉換を

朝鮮中結核豫防令中政正嗣令

の令中改

-

竹田改正

部解部塔川移出牛校疫場官制

開放区

號 月 六 銭〇四・價定 行發祉閉新日朝

|三基・

決戰食糧態勢全 本府の増産施策費一

僧所は食器の國家管理を本年十

を政府が天明し始酸に安出するの一

でず過つて七月中に別契として告 回の同施行規則中にはこれを規 じたが、右動台梁の骨子たる男

億圓突破

十八年度に新しく施設される地蔵

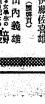
っては約年ケ年間程度の裕餘を置

萬八千四百廿六四を加へれば近に

航南 空 取 記 注

南の基地震が変更力の實相

大佐 正義





心の實踐

[四]

ŋ

-3

職場精神の錬成

鑛山選鑛場事務連絡會議開催

に提出、朝木社はこれを組合外

が及び殿道局枕木を除く絵での

であるが鉄道峰

し枚数三千四百二十枚、金統一而して一月以降の累計額は一分では七百十五萬國の入超

用地物色のため十四日山田日駅常

が有力であつたが、質際は未決定人城した、建設地は営初新羅州説

そもつてゐた際は心脈部では「玉り 型行列車の一で艦上は吳越區・脳とを合して端でから崩潰滅出の気情、下八越區、面號河軍および盤區間となるに、面號河軍および盤區間とは一個大大大大大大大大大大大大大大大大大

輕金屬工場建設

日輕、加電化兩社首腦部來城

行総額制限方式に代り賃金規則お

行政環系の開業化のため改正式

産業に脳する特定事業場に對し現

についてはこの際

原城府内のどの登に位

お図の爲めに此の命を古し出すっ して頂いてある私共は、いつで

もりです」(節約は日本文與報閥

た時、そこの難復屋に

蠅取粉

陣頭指導者

において釈願中で勅令と同時に 規則(省令)改正案は目下企设院 しかして右敷令の欧正に伴ふ施行

を理望して止まない次第一の日際による ・ と称別の側質を供知せら、あり砂糖材料の三、四、約は大き格別の側質を供知せら、あり砂糖材料の三、四、約は大きないので、一、四、10円であるが、維物の懸骨は

丰

Sび殿道局概木を除く終ての 選手形で幾高は枚数三萬七千九百 要を行ふ木材は市用材、管一行一中央喧喧韻における第二十三

に劉倫職等新設すると共に本時、続近尉の支援の下に原原的計畫修築度應要領を作成,ごれをと変謝して質慮されてゐたが斯くては錦々隠藉の不超過を來すことゝなるので顛末魁では批內 の有機的影響に未だ飲くる所あり、質際問題として從來各組合より直接配理要求その他觀道局 木林総献を受徴に基く計事輸送は現行法規においては都語主義とよる場が批社を道機制組合と大林総教の監路打開のためにはこれが取組主義による輸送の計能化が最も概念とされてゐるが大林総教の監路打開のためにはこれが取組主義による輸送の計能化が最も概念とされてゐるが

木材

計畫

京城卸賣物價微騰

賃金統制令改正

本社會記憶

株式市況

(経頭)

投資も絶對決戰型で

時島田路舎此の生産力を我等の投

券證田秋 五五一五②東代記書

尼復暦』政府は決職下生産の一する賃金支援を容易ならしめ生意

生産能率向上が狙ひ

【陸年】▲百圓加平鄉外西面淵 國防献公

マー 大本部 | 交流大電気

朝木社に運輸課新設

その他系統的方面よりする影響で、今回關係設局領域の結果。支明麒麟總振興では職場衝陣の鉄成、壁上縣幾名能能なくせられてゐる 回觸山選鰀揚非游響格會議を開

決定し、おかく一般確を繋ぐ双克を投続を積極的に利用することに

見、等車連続を減少することとせり、通勤別車の二等車連続を廃止し、通勤別車の二等車連続を廃止し、

の整理統合の劉丁(株託合、任意組合その他)

午後三時)輸送力増弱のため七月

日から短區間の支級列車および

國民機職についで、十七年度決算

この戎党により極入する既は山

急に三等車に改造して弧動、

難し臨門官から種々説明があり、 【上海十五日同盟】 華中鉄道では、東に協力會提出の左記帝国察項に 華・鐵道、副總裁更と

について偕鼠の指示注意があり、

副會頭に米

空年度へ鏡越) 承耶、 九一國、 差引残高二、 九一國、 差引残高二、

形交換減少

食用鹽確保

給関係は未だ自給自足の域に適け

月より一

一ケ月間

間期調强

文部省、塵林省、選信名、整築器國會主催とし尚報局、一

なめ四郎十六年以降毎年殿物増産

常非

おいて決定せる旗要職物非常増産 【東京電話】十五日の定例閣議に 東城内議の一倉職等で臨時総合を開催

一時五十分散會、 學國、

物等が積み出される見込である、一伊原間をはじめ三十三線區で一部 戎克の復荷としては妖、枕木、果

重要鑛物

る所(製造項に関し装合部解を求め、明線を確置景策に関し、各関僚より頼々意見の交換があって、り重要戦物非常増重運輸即個質施要額につき設明・これを決定、ついで八田線相より輸送力器化に 【東京電話】十五日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開留、東條首相以下全閣僚出席、岸殿相よ なほ重要職物非常地産照觸期間從施更綱は午後四時僧報局より後表された 、增產確保

月間とし期間開始前一月個はこ日より間年九月三十日に至る二日より間年九月三十日に至る二日に至る二十日に

際員に関係者にして回答を求めた

に利用してゐること、この村に本

婦人錬成會等 で叩

ける福津課長、中島村長を中心と

に新しく策えるのだ▲釜山の労番であるだけを挙げた者が國家と共 の元気を抱ふのである。即ち、持つ

するのとか

工業整理統合 一方式を採用し生剤能等時上に影響した よび昇給内規の認可による新なる

のよ朝鮮經統協力連絡會總會

復報法院後事なる長崎站三氏であ

ではあり、早速ではあり、早速で

で見た時、こ人にその最もす

經濟統制の健全なる地質を切する

選法精神の瞬治皆窓に努め、決成ため一数撃者の時局認識の徹底、

經濟の際立を中合せて五時過ぎ間

別計【國防航金】▲爪百一團所 拾四錢 湯上。

殖銀異動

總計 百十五萬一千九

く』が東前機健時の脚本と相談と

浮なりとの理由か

を誇った屋台母

作品『観念風』を練

遇白系の京成對切で次の各社部 (病目)ふくちやん埼香(日本マンガ)なかよし(佐藤マンガ)なかよし

部では第十九同定期交替管約線へ 獨逸音樂のタ版大学

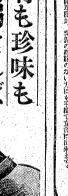
世国はグルツの序曲 / アルツの序曲 / アルツの序曲 / アルツの序曲 / アルツの序曲 / アルツの序曲 / アルツの序曲 / アルツの原理 / アルウェルの原理 / アルツの原理 / アルリの原理 / アルリの原

建品

れに反し、胃傷の消化力と吸水になって、 に関い人は、食べたものがよく血に関い人は、食べたもかけであります。 でオネオギーといる薬物があります。 この品は、傾物ホルモンをはじぬ々の質質類を総合してあるので のなり、特に脳の吸収力を貼め、 があり、特に脳の吸収力を貼め でありますから、どんな実食やしていますから、どんな実食物でなっていると、まつが拡は、だらべてみると、まつが拡は、だらべてみると、まつが拡は、だいの質疑がないがない。 血肉に同化する期合がす

購入の方法

が先决問題! るため、微妙代談がよくなり、血行 が貯燥に、そして、食べたものがよ く血肉となるので、次第に動が丈夫 になります。



田舎にあるものなら、何でもき、めがなくなつてゐたのな』 教訓にはならねだらうか。

でらしになってゐる間に、暖のでも伝

榮養に にならぬば

| 上映番組も研り | |

斋 方が作

E

にも特別措置 資材、輸送力 【東京電話】政府は銅、鉛、

い步みを歩むものであつて、

と問つてゐた、この村が数年前か

関行する便宜を得たが修練舎に於

製州白川騰雄かあかと燃ゆ

演『劉逸賞樂の夕』を十

自、六月十六日 至、六月三十日 も二もなく頑張れ貯蓄 東漢朝朝朝

朝群總督府朝群金融團

夏面目な青年 を納合し

百圓の観況に関うてゐた、そこで

建築恐慌時代には疲弊その板に選

た家族的盟策經常にあったが機械

家族の勞力を中心とし

機作地五百寸町が中海が二町大屋 ある顕像状態の量をあげることにの生態者と低し、 温異符のやうな 繊維法の敏酸から対击來の喚成での生態者と低し、 温異符のやうな 繊維法の敏酸から対击來の喚成でない。

慶北班員の活動ぶ

たともいへる、日本理論の良さは | 少比気候の中島氏が村長に気任さ

以明白的大利元山心京町公司六 七年代第月参照日石著城社区町 七年代第月参照日石著城社区町

私共の命は私共のものではあ 全く無適の追願によるもので

のためとくに一定期間を設けてンガンなど印度緩励の増善確保

概を了つて帰らうとした時、そこ る私共は死なねばならぬ人間です。

海頭は松光約一月後一頭六十一鈴 海頭は松光約一月後一頭六十四 海店との。后辺の時は左右側側が 海店が一個四年近谷側一三元 日本 微生物 研究 所 新東東京大一面

生活を見失ひ、遊だ

もとより時には郷、差さく時出するのに何の不足不滅不平があらう。 域がそのま、南東の海壁、氷ボの北洋に連なり大阪の威野に織いてるそして近に気管するのだ、銃後も威場であることを、私たちの家庭が戦

> 金を財布に入れてゐて自由に傾へはなからうか、では私たちがその 質して貰ってもピンと來ないので

飛行機も 如も一文無しで であり複数である。一つの国家が では一艘戦争とはどれほどが要な 響りた記である ロ歌も大廻も弾 無いのど、勝ち抜いてこその主張 ◆ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆ | ○ ◆

して二百七十八萬七千七百回 ヤ十五億八千九百萬四、日初に マ十五億八千九百萬四、日初に

第一次世界大戰

後を維持してゆく一般經常豫算が

あることを忘れてはならない。大

立てなければならないとき一人で

きった品である
・ 「無ハウミ、締ら次ハてこそり主義
・ な行はれるだらう
歌明すれば金が必要なのは判り「歌歌の歌響事を想へば物の歌では、も行はれるだらう

勝ち抜く爲の脱過關達の苦しさ等

から戦争を棄締した國家はない、て受け入れて來たのであり今後もから戦争を棄締した國家はない、大受け入れて來たのであり今後も きな戦器でも各國は俗を喰ひしばめに増えた取扱の形大さはこの意

て受け入れて來たのであり今後も

て七十四萬二十五百四(浩國の

はこんな安易なことはあるまい、私たちが問題することはそのまゝ武 況んや貯留することがそのまゝ立派な御鑑公の一つに数へられるなら

さて何年四ほど四へるだ

野が出来るわけのものでもない、は個人の此意生な関北とりも趣に など、いふものは一國の非常時収、最後や武器を仰線に構造するに、桁の大きな苦痛と悲劇とが伴って、咳であるだけに明確にし難いし、最後する長鏡の仰線生芸にも あるこを知らればならない、映査 今次大概などのドイツまたはソ殿 として金のかくらないものは あるこを知らればならない、映査 今次大概などのドイツまたはソ殿 として金のかくらないものは あるこを知らればならない。映査

各戰役に見る列國の軍事費

八百國▲イギリス(四年三ケ月) 「日網にして五十六四八千 「一日網にして五十六四八千

四巨原國といふ四巨原國といふ

元級監後一帯で『地下資献を練る

って出る

私のソバカス取に話

記述して現れるのだ。『貯蓄』は歌いう、公価を質はう『貯蓄』は歌

ある、しかも之は無利子として計・張するために自國の撤益を拡張す 対したのだから銀行預金にでもし るために國土を賭して威争して來

- これが一蹴蛆で 古来競多の図案が自國の正義を主 **勝**扱いた場合にのみ誤れることで

だ芝居だ、酒だといってもそれは

見せないものだ、以下は現在公表

てみるとむしろ當然すぎるほど皆

28 活は正と地域に等しいものである

ばしてこれが質問徹底を押するこ

とにした。まづ本月は少くとも例 先立ち、十五日全巡園班の間を飛 二個貯蓄達成週間到別の展開に六百萬間である、京園道では『十

國民の中限なる歴生が膜を一つかつてある制度である。本所の といる こんだ料し度に含て多る

中五日阿火▲十六日韓川▲十七日 日永川▲十八日昭湖▲十九日河 陽▲廿日東村▲廿一日昭道▲廿 1-1日韓川

暗密映画のを開催する 底を悩るため左の日糕により巡回 題局では簡保総加入運動の趣旨做

十六日から月末までの向う十五日間に買って隣民棚力朝鮮職別では全難一層に『十一

ってもそれが一億どの程度の金目

ってもそれが一億との程度の金目四づつ消費し紛けたとして嵌入二門一億四一一一億回と一口にいある、神武飢業の御時から毎日百

い金――これが一億回である。千六百年を経てもなほ傾ひされな

低々数のほかに原図域での時情報 密助行を促し、代明金で買った図 貯蓄奉公に沸る

勤勞戦士が示す赤

連續であることを自覚して、生活

貯蓄組合の強化

上の困難を克服すると共に生活の

立して、目的違成を測し、その各

組合員の貯蓄率については個的に 応答組合毎にそれぐ 目標額を勘

以を照開して國際人勢の全戸普及

嚙みしめよ總督の言葉

學生の勤勞と交換嬢に教ふ心構へ

曰

殿下にはかねて御殿兆を輝されて

女王御殿宇あらせられ御母子とも | てある、『殿界は南京に似っ、木年 | 微して宮珂しないことなどについ | 日本は今一日 | 顧問の職題で取っ | 割化すると共に | 里買った底勢は

度半局に質荷された貯蓄額は十二

て注意を促した、なほ勤勢の増加

遊を賦得し日本精神を直接するの

ある、朝鮮にあっても設士にまで は断個な利神を控び倒兵を生んで

しつかり踏みつけ脈傾斑質なる四 めてゐるのではない、足を大地に

さるて脳道から日本精神を把む

述べる総督は瑞穂の図の日本

日午前九時から明がれた局長・路

類を耽くのだった、磁管は更に官

貯蓄映畫會「釜山釜

消物的約を徹底し進んで防密質額

どの中京機道負換額は三億四千

研伽在にわたらせ給ふ間宮内省か 久邇宮朝融王殿下

職盟或は整國致は組織的に徹底

で買物院語、遊問院書についても

は職を励る。そこ

かざして、各町、里、洞、部落、

けふ。必成期し總進撃

目火中川火华八十和原

三五字形型指

大学大田の一大田の

超ちあがつた二千五百萬は、それ

の簡易化は超極難察を陰楽化、原

地面に挺身、消盤 節約

版文略街道を驀進、老いも若云も

断行、山本郷に、アツツ局玉碗料

からい物質愛護、腰品の更生利用

層の貯蓄強化徹底に敷配して十二

胸躍り

讀む

にかゝつて國民的苦の増張に存する、本年度の形式一後をたらり、これには日報の國際消化資金と生産力概元章金の経保が

かせた十二億個に決定震一點となっ

すべき弾丸となる 憎んでも 日から全鮮一齊に火蓋を切り、一千五百萬、貯薬と神る影響の **丸となる 十二億貯蓄强調運動がける 十六**憎んでも憎み足らない鬼畜米英を 叩き徴 忠魂に應つん。貯蓄半島公 額は二百七十億、わが朝鮮でも内地に呼吸して今年の目標額を飛頭的に増加

一般領完遂に火の玉となった。 しかし戦時財政はその規模が飛頭的に増大の

っての一大國民運動である

制には学郎の若人が布護の鑑を施一ち、朝の出凱際に 夕浪示だー々 と答響に、愛國強に、守の掲示板の一り出された、本暦に儺く宗訓生た

ち、朝の出動際に、抱示だールと

待て

りこの掲示

→ 人が發見すると二人、三人、四

と待ち遠しがる者もゐて、水道く

十月上旬を待ち逃しとばかりへも もの、或ひは訓練所入所期の來

して若人の黑山を築いた、中には

、東部戦争は許然を極める決敗攻略に入り、一般國民はその魅力をあげ、とがあつても、この十一般的数を達成しょうと、二十五百萬一九とな

一番の質行を期する ひ盆々その質問を設抑する、その わが図財政経済の飛網的競技に伴 國價、價券全戸普及 も被極的な協力を傾けて新規的 分についても開係方面との緊密な

網を含らに低低するため特に期間 を既行する、この極本的な匹威要 る聯邦を保つてなるべく高率的密 の時常的など、凡ゆる機能を捉し
思想振作日)ラジオ、整個班の
思想振作日)ラジオ、整個班の

本期間内には一定の貯蓄を必ず

計日) 帰贈 温動が隔中に おい 内の概示板にもその須知事項計日) 帰贈 温動が隔中に おい 内の概示板にもその須知事項

とする完全な星國民民の際をからに、空に、さらに海への眼者たらん 競表された半風の海軍志願兵制度 このほど全賊の街に扱示した、壁

光葉の海軍志願兵になれる道を一

りみて恥しい處はないか決職生活 また一般人も生活の細部に亘り省

國民服の色は自由

される、國民服の制式は去る昭和に関する敷令が公布され即日施行 總進軍だ、十六日國民服制式特例 揃って色も生地も自由な関民服の 【東京電話】さあー全國民男子は一十五年十一月勅令國民服令で制定一來るやうにする脳から國民服は偕

は國民服乙號またはこれに巡する されたのであるが、去る四日常議 型網によって男子洋服の新規仕立決定を見た職時衣生活陥素化質施 給機関に在庫する背間などの生地 のに限定された、從つて現在配 分の間必ずしも茶棚色でなくても になったものである 制式の範圍をぐつと擴大して脚絆 よいといる風に敗めるらに職時下 で正式の國民服として認めること 防空服装徹底の立場から國民服 タンコを脳用し長靴を穿いて

手持ち服の仕立直しも結構

四百億二千七百七十二萬四千回

郷田して明常の神給に、生敵の顕 多様に消費されてゐるが、この地 充等、あらゆる建設面のお役立に 下資源こそ限に勝抜くほに総對的 に不可能のものでありその関係な 要しく出動、廿五日は明鮮演劇 き女事物はが何頭に織出て能物融戦所職の銀行、自此などの岩 大日本婦人司員が擺淡も甲斐甲 期間中、京城では十三日金 四日は巡阅班山を安へた 半島の津水湖水に進し

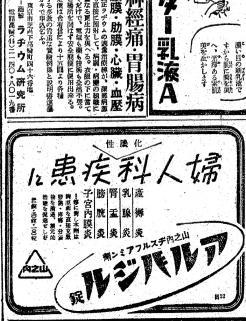
解した 旅客憩ひの家 下關驛前に設く

して限るの家、協和質的を闲政、 人は一年六十四人にも近するので れに飲出場、食堂、浴場を新設 で開放することになった。総

機に置する質疑行事を の十二億沿著週間辺動













會員を開す 蔵民服の氾濫

3a1倒で血漸腦はara舒油

原記頭手 設新重足 注応で大し

た、この日院内はずつかりならる 東京電話」刻下の映解的磁池る

結核思

whhh h

属卵膜粉 答

征見炎核

大ない。大崎 結核

語深

星製藥株式會社

(3) 階版

がら解かな迎轉振りを見せれば一がら解かな迎轉振りを見せればしている。 巡営の一個を荷つ

プミナインは皮膚科薬院甲醛の酸塩をで脂と紫れ奥へて製の酸配件形と熱が作用と然が作用と然が作用と然が作用と然が作用と然が、

る削減の意象を如此に対映して明 ポレクス歴史的議會の郭は緊迫せ く等職が融合の口の流がまざ

日本鑛産株式 **政政** 正語株王總質終結ノ日迄依 會

(尼城代理店) 木 村 樂 房野五、原 理化學研究所翻品科東京八四五空宝蛋

大相撲初日取組ま

七日から訓練院會場で開幕

演演などもあり、入題寫真は発果

名は宣城間部外三先生に引率され 仁川昭和東國民學校兒第二百五十

て十五日朝入城、朝鮮神宮に参拜

班桐本千代さん宅の門前を通

一十四日年前十時半了

商女の合唱、衛生映戦与多彩なで(李先根博士)の節頑、弾花で(李先根博士)の節頑、弾花

"(日丽水)

防犯當番に手柄

天晴れ久保さんに近く表彰

げたその手機は大きいと置へて近

は十七、十八、十九の三日間、 学映畫の夕

では全國一を誇る階段式千八百餘

後に贈る豪語な器宴だ、地方場所

を開催する

民題被生徒

れて統計三百四十階を海軍武官所

を防れて献納した「寓資!仁川國

門職へ寄せられた飲金

赤誠の献金十五日東大

た館塔二百覧を示にく、海軍武官

何九時すを財容した【智智・職造

端の衛生(松山帝風長) 度 三根山平大ノ森 万州山平原 (福田) (1) 中、黄東、峡道、郊 二角、河 山 東 (1) 中、 (1) 中、

いって『厚生融演及び音樂映遊の

午前十時京城野精入城、庭ちに神 宮澄渓宿宮に入るが、機除一行は 営港が貼り出されると、 街はもう

佗びて旅館の 町下に力士名の 割

勝ち抜くの氣魄

の根据大密は都合で延期、商々來

例記念映畫 《胡麟海峽》 主流女優

撮影大會監開 聴衆に多大の感銘

る廿日(日間)午前十時から想養、大日本漢字が年曜期離本部京鶴道 (岩沙年曜夏の恵嶋さ行ひ、高遊頭海で関係量事は西漢道の様)支部では、同盟本部制統、日暮海・午後七時から高温離大路堂総を行ひは深園電平井大橋の母院。町少路を指導・十四日は京城府港・貫を開催した

午後七時から后民館大器堂で講演





(こいつはまだ館に用心してゐる) だまって、ひとり苦笑ひをしてゐ

つてゐるのを見たんだより

夏門ノ九安組へ ・ 関本さった回番 近番な解説

清算人 土石 升 浪 金山合同船具漁具有限會社

わきる新療法

進無 呈代

甲斐計理事務所

日本三五十ス

古着頭

と手御一般大館と

華やかなる幻想 ・過

石炭

大阪部大作

層八通

子が、張は、一切政

つちもいけなくなつちまつたよ

『いや、悪題な…

と触も思って

思想が服の背筋を走つたやう



と語られた木觚を討たずはやさな い

に

な

な

で

で

な

な

の

つ

之

大

な

に

大 があ、山木精神に傾け、アツ

なつてある 國以上三朝、五十四以上四朝、廿四宗滿一割、五國以上三朝、廿 各種與行入場彩三個以上一個と

触資は乙女道の腕にも燃え立つた

圓以

品品

一割

お買物に債券抱合率決る







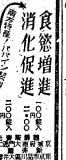




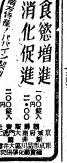
野京

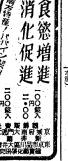
城 夏





















 ne stre		『大東弘版争と特國海軍』		取果 在叶	ĺ	
	证额	三號型	災		電泉浴	1

国際国際大学 (1987年)

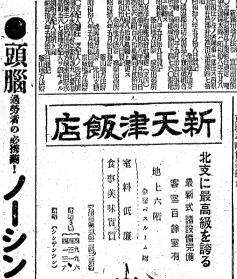
	200	たもの	路の	世界	当其
女事務員採用	朝鮮自轉車響等	河流の一丁門一四九番地の一下の東京の大阪である。	蜂翻採用	三張型 子行	京城市城大學開闢層院會計係・

用	の世界に	関		13	U
工場京城西部門	照斯	朝鮮電機製作	專門製作及修理	配電盤・分電盤	

アニ会会とは、経際、国内が対象が	作用(3)107	新 京原新聞パノニ 鮮電 機製作所
華かり	1日至	配置

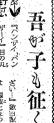
五番部	1	一大者七	六番	所
	華	撃日ち本	土田田	記
水品道太郎	かなる	イニレル	I B J	
天郎名	幻想	まして		田田は近安











朝

@ E

夜

員募集

全部殺す!

私の治療薬を教へる

齏

○○スマトラで聞いた話、午後○・三〇吹奏換▲一・

東海局路基液田平一人・〇〇間東海局路基液田甲一人・〇〇間、野野井陽季・管絃樂人九・〇〇(坂) 野歌縣田(鮮田)(原)放送小説(解田)

大いなる祭

[160]

三芳 中野

悌吉(繪) 實(作)

三號型(三行)

し消火ポンプー台を購入

(四)

海洋精神

を鼓吹

高橋大將け

京城で獅子吼

奇特な朝本さん

兴华八平和腊

府民館で開催するが高橋大将は

平洋の誰てまで不波の勝利を躍か

完煉にあるのだ。と否材町10三一心をふるひ立たせてある

萬、廣州警察署長の努力

習く配たらんとするその激闘精神せてあるわが常國海軍の正臘と水

を半局同胞の前に披謝して海軍志

一郎下に放山本元帥の御難さ引

この貿易では特に一般が取べも領するのであるが 原兵への敵かしき前途のため激励

制れた、東畿道属州警察

酸器類を出と積んだトラーかを説いた甲斐あって同型婦人會

からは我も我もと持ち寄った製品

張さん、大丈夫だよ

ほら、三四年前この先のこ

イギリスの領事館ね

御飾り東局五二四番へ一台離る

(登村木時計) (登村木時計)

最高計

っなに、馬鹿々々しい話なんだが、

日午後トラツク二台に潮歌、代表

海軍武官府へ献納

能における問題演會は全際

大鵬演會にのぞむことゝな大將は十九日釜山に赴き同

を送る歌音に燃えてゐる。 さい…」数日数十の顔の波 は「観波となって解道を埋 極め光照町ニノ三三四國

と願々しく ぼしい 眼付だ 山映館岩の 散送を 皮切り



配着、美々の息主さ、あの男が殺

香犬小帕公里

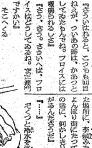
あすこの横で李威とかいふ新版

朝鮮軍変國部へ駆機關統二合基 ことのであるが、なおに、あれば、彼も思っかったんだ。水に流してもらひて、 あるが、なめに、あれは、館も思れたり、ひでえ目に遭つたことは

なんでもこの界

つう機り

短として海軍武官府へこの日 | 分

































價藥 咖·斯公









決戦半島の眞姿の影響が影の

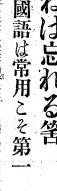
型に関目から 下やりつくあるわけである。これ 国 国際の人を一 一類可なにやらうといることで国 国際の人を一 一類可なにやらうといることで国

問題で | ◆……◆

育倒養国といふものを設けてそが水野さんの政務超続の時、数大正十一年だったかと思ひますい

第八十二臨時議會成立(およ衆議院

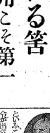




























交流 山名酒喜男 医神马基 原田正洪 隐林马县 原田正洪 临

山名文書課長一部年特別



同日より三日間を登別とする路形態質が開始せられて決版に属すべき以后の所信園内について企業整備、食塩増産、地方選集延期に 産業物資一州營團を創立

環因期間食糧管理令の制令案を成年度内に實施することに決定、根

1四0、四1四、11公五

上門冰市、養賦北方地區作威に移行すると簡第十名裁判で鉄鐵・減いて今回の沿海作威を加へ変に合計立三個同廿四萬の大巡が帰南の韓に報られ勝介研の反交企園に完全に配称されたのである。 の全一個は、正大個都大萬が殲滅される経過となった。概念れば去る。五月一日開陸離戦滅が開始され、まつ第十九年滅頭を順然りとのであるが、戮うわが反照に獲ひ一部りもなく消滅、かくて四日より九日と至る館か「魏国のうちに新観部隊七十四、世九、四十四年のであるが、戮うわが反照に獲ひ一部りもなく消滅、かくて四日より九日と至る館か「魏国のうちに新観部隊七十四、世九、四十四年のであるが、戮うれがは関係を持つ、まる四日より官師・曹潔、大門上田の三方句において帝魏を命て來ったも滅し、かれの歌はは日路々原源院に被国したが、わが進之により登場をひとうる歌郷を終すと信仰を実たした、第六戦庫部は行った。

及職職質額金は副の上「短衛隊はこれに切ってき破第七十一それく「顕彰した言、これとほる」医な人目、題化す。 一般など戦闘一体師を観閲した事文 一時間をは戦した主文 一時間をは戦した主文 一時間をは戦した主

更に二個師を屠る

見事わず反轉の獲物

一個は、傷心・四郎階下 | 同じくして石首、繭密方面にお

一戶少將補職

製法特許

電 裏 を 整理しつ、ある最新刺である。 を映起しつ、ある最新刺である。 を映起しつ、ある最新刺である。

二、微腎、夜間作薬、その他睡気除去を一、過度の肉体及び精神活動時

、を種憂鬱症を強勢、宿酔、柔物酪

各地製店にあり

包裝 鏡網(1般中心-001天含有)

大日本襲樂株式的社本店 大阪市道修町

國に國防 家庭に保険

四級爆眼機一機)を関係した高

國民貯蓄は保險から

國民貯蓄の必成に御協力なされる皆様方の御後援によ り弊社の業績は倍々躍進し最近では 一ケ月契約増加 約七約 99

勸め致します

國民貯蓄増强のため基礎磐石の弊趾の御利用を切にお

となりました

保險契約總額

十五億餘

紅魚採用

細は未だ判明しないが大體内地に

を服用するとイース である。イーストペ てゐる。イーストペ てなれ胃腸病を癒 菌の糖化力で食物



では、 なる事は誰でも知つ てるるが喫煙家は既 にニコチン中毒に罹 にニコチン中毒に罹 にニコチン中毒に罹 のる事は誰でも知つ が必種事が含まれて スト菌の

権 なづく」のため煙赤 十五銭で薬店 『ラクトフラビンと 十四銭五圓三 ・ イーストは愛嬬家の イーストは愛嬬家のと す作用があるが同時 が解消される。故にと す作用があるが同時 が解消される。故に

煙草の毒を消す

医居にあり 五十銭・一 円

ともにそなえ、柔 殺菌力と除臭力を のお肌を護りませ 肌に無刺戟な薬用 らへんでは

どから…赤ちゃん むせもやたられな

北京公司

0

ピルツ剤化

派いつれも一致陳紀覧登議會の決

画明化を脱がなだなからと思ふ 即も第一線指導性なるものは 取るものと確信する。また施留 るものと確信する。また施留 を不能で組織ばかりでなく經濟 を下に入れ勝盟のコモとを解国 を下に入れ勝盟の事とと解し ないとなってとかに ないとなってとかに ないとなった。

全額貯蓄だ

質踐を强化

氏は当然接興式の開釜本配を訪れ

けふの市況(主音)

特进高段后縣提

あすから十二億攻略へ總進軍 「東京電話」野生名では企業整備 金した。 驟訓練 所增設 ひの気持を陸海軍へ歩げます。

本社募集、健兵錬成の歌、賞狀授與 ご對する性状態に

である性状態に

である。

であ 五日午剛十一時から『匹氏院 『日の本の慰を始ふ、錬成の若人 開発の 勝敗は日より 恒にあり 流江水電清平建設事務所川原職要に私助めり市網支配送報道部長は、本並募集『健長線成の歌』入営者

の「の出來ぬ滞年を一つの帰納感じし」の剛祉参判加額作業等 開一門就式に順級して深掛炸頭、駅力 質威生活側がはつきりと 原・貯頭等の各部門と活用すべく旦下。これに載べると順級は末 では、大田・東京の・大田・東が足りないと版ふ 帝都の緊張に恥かしい半島

質成生活側がはつきりと頻はれるの脚趾参邦訓練作業等が行はれ 中華新領事就任披露



記念の献金

貯蓄奉公へ猛進撃

戦ふ勤勞戦士が示す赤心

漲る臨時議會

る協力あつてこそ初めて活動に

上、五百國以下二側五分以上、 下國以下三側五分以上、五干國 以下五間以上、五干國を超える の六側以上、五干國を超える

と、石百園以下に別五分以上、二百五十國以下は二割以以上、二百五十國以下は二割以以上、二百五十國以下は二割以以上、一部五分之。

一枝でも多くの保勢勝人に、貯蓄と乗を加しんで

員記【覇蟹、ふ土の戦士の政象戦闘を認続する「必量を出す、十八時、半日の滅滅「級攻の戦を上げるのであった。一山田・特派」と抵に他方い書館に蹴力年齢を厳・手賑ってか年後の各無数徴にはが「郷はしき戦、永代の人よと迎込は

巻は許されて関連常に参加、吹き 別郷成所を勘察する、ポプラと記 しめを辞録養成の在り方と戦ふ戦の後にいて行はれたものだ、記 を終へて織もつかせず保職隊年代 丁学煕せさる改善をして今日もり、

一の道」を整備していてく、軍民教、戊族に緊張の毎郎を歌はレて我々、兵職、への心精へを摂く、本半世、魔込が軍き解謝を確って象い『長』では繁弾した五十年齢の採師生が、以社となる機朴なる興民途の《徳、憲弘が軍 き解離を確って象い『長』では繁弾した五十年齢の採師生が、ひけて御天の火とな

靑龍靑年特別錬成隊を見る

淋

母を吸び出し……

C月O日(第三日) 騰れ、熊朔基

浴びる半島の子らは中にゴム就 成ぶりをみせる、斑蝥の法目を は指導質の鮮か指揮で見事な爨

减C抑组

野村の投資信

託

大の樂音を歌ふよいた風凉に心 -沙 大公演 十七日。





社名 變更致候間此改雜 新社名 茶 新社名 茶

ME Emile一會社

リ常社社名ヲ左ノ通リ。



大スリール エッジー 第一章が、戦闘四九二 ⁿ_ 所生

加田

44 步

語シン 新東川、八路舎



質攻略へ歌迎出だ 総々十六日から月 く軍司令官 場の気持ちで配落へ邁進する ○十二個に密頭側巡動の質施

所(優雅)が開設される、現在一ものと合せると五ケ所となる
「概線を質施する果北國政動が訓練」なので動たに概言市郊外に生れる **宿望の訓練所**っ

志願兵入所生壯行會

開催・昭和十七年度決算報告承認四日午後四時から遠信事業百館で

防諜寫聯理事會

國志

【170】吉川英治(作)

で従ひ且う我々の先輩に戦逃します』 で従ひ且う我々の先輩に恥ぢぬ では知い関下の何敬訓

郷職、市業計畫では助議 第四次第

と力限い容勢を述べ、非然いて高一定等をみて岡五時半郎をした

| 黄金の一部献金

鮮展の賞狀授與式

而誠總會 [沙里區] 沙里

ものが見えるが、貴公を

まだ一度も

退治

施力の低下は 施力の低下は をとなって徐々 全となって徐々 をとなって徐々 間ります。 関ります。 都品蘇特婆頂浦ワツミ・北慶鮮朝 部品瀬橋本饒石ワツミ西京県

V 2.

利共・廿八段